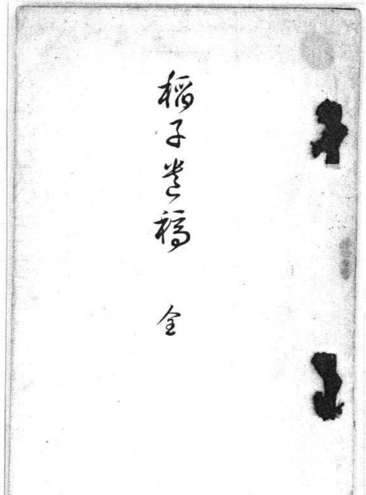遠山稲子　とおやまいねこ　歌人。明治七年埼玉縣大里郡佐谷田村生れ、大正元年十月五日歿（一八七四ー一九一二）。舊姓福木。上京して開成女學館に學び、高崎正風に師事して歌道を修めた。宮中歌會始の選者となり、北白川、山階兩宮家妃の歌を指導。また下田歌子設立の帝國婦人協會の機關誌に筆を執り、會員の詠歌添削にも當った。師正風の遺著『歌ものがたり』（明治四十五年五月十日東京社）を編纂後、程なく病歿。『稲子遺稿』（大正二年十一月三日遠山英子編刊、敷島發行所）がある。